

授業科目名	ヒューマン・ケア科学基礎論 I	科目番号	02EU001
単位数	1	担当教員	濱口佳和・本田靖・横山 徹爾 庄司一子・沢宮容子
授業時間	春A 5月11日(土)、5月12日(日)	研究室	D706
科目の種類	講義	筆頭教員 メールアドレス	yhama@human.tsukuba.ac.jp
標準履修年次	1・2	オフィスアワー	メールで予定を確認のうえ、訪問すること

授業の到達目標	<p>一般目標(GIO)</p> <p>対人援助に関わる諸問題(対象の全人的理解、援助方法の策定と介入、そして対象の置かれている状況の社会的制度的理解など)について、教育学、心理学、保健学の分野から交叉的かつ体系的に把握する。</p>
授業の概要	<p>行動目標(SBO)</p> <p>対人援助に関わる諸問題について教育学、心理学、保健学の観点から説明することができる。</p>
テキスト 参考図書	特に定めない
成績評価の方法	毎時間に課するレポートによる。

授業計画

回	担当教員	授業内容
1	本田靖	ヒューマン・ケア科学と環境保健学
2	沢宮容子	心理臨床におけるヒューマン・ケア
3	横山徹爾	ヒューマン・ケア科学における生涯健康学
4	濱口佳和	発達臨床におけるヒューマン・ケア
5	庄司一子	教育臨床におけるヒューマン・ケア

授業科目名	ヒューマン・ケア科学基礎論Ⅱ	科目番号	02EU002
単位数	1単位	担当教員 (科目責任者)	斎藤環・近藤正英・ 牛山 明・武田文・水上勝義
授業時間	秋A 11月9日(土)、11月10日(日)	研究室	D720
科目の種類	講義	電話 又は メールアドレス	3068 HHD02063@nifty.com
標準履修年次	1・2年	オフィスアワー	授業前後にアポイントを取る

授業の到達目標 対人援助に関わる諸問題について、高齢者ケアリング学、老年精神保健学、健康社会学、社会精神保健学などの基礎を学び、現状について複数の視野から論じることができる。

授業の概要 対人援助に関わる諸問題について高齢者ケアリング学、老年精神保健学、健康社会学、社会精神保健学などの立場から多面的に学ぶ。

テキスト 特に定めない。

参考図書 特に定めない。

成績評価の方法 授業ごとの課題の評価を平均する

授業計画

回	担当教員	授業内容
1	斎藤 環	ヒューマン・ケア科学とコミュニティ・ケア
2	近藤正英	経済学と保健医療政策
3	牛山 明	ヒューマン・ケア科学と生活環境学
4	武田 文	ヒューマン・ケア科学と健康社会学
5	水上勝義	ヒューマン・ケア科学と老年期のメンタルヘルス

授業科目名	ヒューマン・ケア科学基礎論Ⅲ	科目番号	02EU003
単位数	1	担当教員	市川政雄、高橋秀人、田宮菜奈子、徳田克己、森田展彰
授業時間	春C 7月20日、21日	研究室	D717
科目の種類	講義	電話	masao@md.tsukuba.ac.jp
標準履修年次	1・2	オフィスアワー	要予約

授業の到達目標 対人援助に関わる諸問題をさまざまな学問分野から交差的かつ体系的に把握し、基礎的知識を得る。

授業の概要

1. 対人援助の基本である対象の全人的理解について、社会医学・医療政策学の観点から論じることができる。
2. 援助方法の策定と介入について、社会医学・医療政策学の観点から論じることができる。
3. 対象の置かれている状況の社会的制度的理解と援助について、社会医学・医療政策学の観点から論じることができる。

**テキスト
参考図書** 特に定めない。

成績評価の方法 授業の出席状況、授業中の発言及び課題に対するレポートの内容など、総合的に判断する。

授業計画

回	担当教員	授業内容
1～2	森田 展彰	ヒューマン・ケア科学と社会精神保健学
3～4	高橋秀人	ヒューマア・科学と疫学
5～6	田宮菜奈子	ヒューマン・ケア科学としてのヘルスサービスリサーチーその概念と実際
7～8	徳田 克己	物乞い障害者/自殺の話
9～10	市川 政雄	実証から実装へ

授業科目名	ヒューマン・ケア科学方法論 I	科目番号	02EU004
単位数	1単位	担当教員 (科目責任者)	河野 禎之, 青木佐奈枝, 伊藤 智子, 徳永智子
授業時間	春B 6月15日(土)、6月16日(日)	研究室	総合研究棟D316
科目の種類	講義	電話 又は メールアドレス	kyoshiyuki@human.tsukuba.ac.jp
標準履修年次	1・2年	オフィスアワー	木曜13時～15時

授業の到達目標

ヒューマン・ケア科学の今日的課題をさまざまな観点から論じ、探究することができるだけの研究方法上の視座を獲得する。

授業の概要

ヒューマン・ケア科学は学際的な領域であるため、関連する多様な分野の研究方法に対する基礎知識が必要となる。本科目では、社会調査、心理測定、臨床心理学、公衆衛生学にかかわる基本的な研究方法について解説する。

テキスト

特に定めない。

参考図書

特に定めない。必要に応じて授業のなかで言及する。

成績評価の方法

出席状況と各担当教員出題のレポートにより評価する。

授業計画

回	担当教員	授業内容
1	河野禎之	心理測定: QOL評価と認知症のアセスメント(1)
2	河野禎之	心理測定: QOL評価と認知症のアセスメント(2)
3	徳永智子	社会調査: フィールドワークの方法と実践(1)
4	徳永智子	社会調査: フィールドワークの方法と実践(2)
5	青木佐奈枝	臨床心理学的方法論: 支援と研究(1)
6	青木佐奈枝	臨床心理学的方法論: 支援と研究(2)
7	伊藤智子	二次データを用いた疫学研究(1)
8	伊藤智子	二次データを用いた疫学研究(2)

※授業は、90分を1コマとして実施する。

※4月8日(月)のオリエンテーションの出席を含む。

授業科目名	ヒューマン・ケア科学方法論Ⅱ	科目番号	02EU005
単位数	1単位	担当教員 (科目責任者)	岡本紀子 橋爪祐美 水野智美 門間貴史
授業時間	10月5日(土)、10月6日(日)	研究室	総合研究棟D512
科目の種類	講義	電話 又は メールアドレス	okamoto.noriko.gb@u.tsukuba.ac.jp
標準履修年次	1・2年	オフィスアワー	木曜14時

授業の到達目標 ヒューマン・ケア科学の今日的課題をさまざまな観点から論じ、探究することができるだけの研究方法上の視座を獲得する。

授業の概要 ヒューマン・ケア科学は学際的な領域であるため、関連する多様な分野の研究方法に対する基礎知識が必要となる。本科目では、高齢者ケアリング学、生活支援学、健康社会学にかかわる基本的な研究方法について解説する。

テキスト 特に定めない。

参考図書 Anselm Strauss., Juliet Corbin.著、操華子・森岡崇(訳)質的研究の基礎 グラウンデッド・セオリーの開発と技法の手順 第2版、医学書院(2009)
山崎喜比古(監修)、朝倉隆二(編)新・生き方としての健康科学 有信堂高文社(2017)
バーンズ・グローブ著「看護研究入門」エルゼビア・ジャパン(2007)
曾根智史・湯浅資之・鳩野洋子「健康行動と健康教育」医学書院(2002)
Glanz, K., Rimmer, BK., Lewis,FM.「Health behavior and health education: theory, research and practice」John Wiley & Sons, Inc.(2002)

成績評価の方法 出席状況と各担当教員出題のレポートにより評価する。

授業計画

回	担当教員	授業内容
1	橋爪祐美	高齢者看護ケア学研究(1)
2	橋爪祐美	高齢者看護ケア学研究(2)
3	岡本紀子	高齢者のケアに関する研究方法(1)
4	岡本紀子	高齢者のケアに関する研究方法(2)
5	水野智美	バリアフリー研究(1)
6	水野智美	バリアフリー研究(2)
7	門間貴史	健康社会学の研究方法(1)
8	門間貴史	健康社会学の研究方法(2)

※授業は、90分を1コマとして実施する。

授業科目名	ヒューマン・ケア科学 方法論Ⅲ	科目番号	02EU006
単位数	1単位	担当教員	柳久子・水野 智美・堀 愛 伊藤 智子・青木 佐奈枝
授業時間	秋B 12月2日(土)9:00~16:30 12月3日(日)9:00~16:30	研究室	総合D棟712
科目の種類	講義	電話 又は メールアドレス	hyanagi@md.tsukuba.ac.jp
標準履修年次	1・2年	オフィスアワー	火木午後(メールで連絡)

授業の到達目標

ヒューマン・ケア科学研究に必要な研究方法を理解する。

授業の概要

各教員が自分の研究分野における研究方法を紹介し、質疑をおこなう。

テキスト

特に定めない。

参考図書

特に定めない。

成績評価の方法

出席およびレポートまたは小テスト。

授業計画

回	担当教員	授業内容
第1回	柳 久子	予防医学と生命倫理1
第2回	柳 久子	予防医学と生命倫理2
第3回	大谷保和	精神保健学における方法論(1)
第4回	大谷保和	精神保健学における方法論(2)
第5回	大久保麗子	国際福祉医療学における方法論(1)
第6回	大久保麗子	国際福祉医療学における方法論(2)
第7回	堀 愛	国際福祉医療学における方法論(1)
第8回	堀 愛	国際福祉医療学における方法論(2)